

教材名「一つの花」

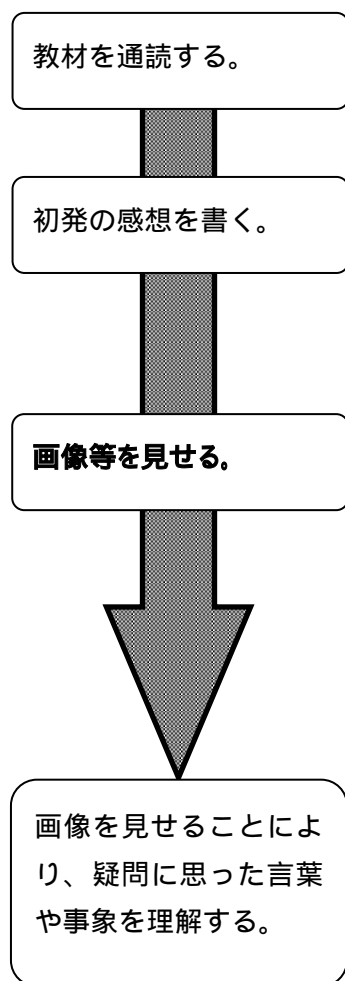
目 標

- ・ 場面や登場人物の様子を想像しながら読むことができる。
- ・ 登場人物や場面の様子を、作品の中の大事な言葉に気をつけて想像しながら読むことができる。
- ・ 題名にこめられた作者の思いについて自分なりの考えを持ち、友達の考えと比べることができる。

コンピュータを活用する利点

戦争というのは子どもたちにとっては、非常に遠い事象である。そこで、戦争というものを少しでもわかるように、画像を見せた。例えば、配給の様子や、戦禍を受けた町の様子、戦時中の食事の様子などを実際に見せることで、「母が本当に食べ物がない中で、ゆみ子に食べ物を分けてあげること」や「父がゆみ子を置いて、戦争に行くことの無念さ」などを考えやすくするためにICTを活用した。

授業の流れ



ICT 活用場面

「一つの花」を学習していく上で、必要な知識を手に入れることと、子どもたちにとって作品がより身近に感じられることを目標に、ICTを活用した。子どもの初発の感想に、「配給の意味がわからない」や「戦禍によって町が焼けた様子を知りたい」、「食べ物がどれだけなかったのか、今の時代には考えられない」といったものがあつたため、実際に画像を見せながら、子どもたちの疑問や思いに迫った。さらに、今後の学習にも生かせるようにするため、よりインパクトがあるような画像を利用した。



成果と課題

実際に画像を見せたことで、より効果的に短時間で戦争について知ることができた。しかし、より深いところまで戦争について説明や学習ができていないため、偏った考えを作り上げてしまう危険がある。見せる画像などをより精選し、子どもたちの考えに効果的に応えられるもので、学習に活かせるものを使っていかなければいけないと考える。今回利用した画像によって、子どもたちは教材である「一つの花」にとっても入り込み、熱心に学習することができた。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、プロジェクタ
使用ソフト名	Internet Explorer (昭和館ホームページ)
使用教室	普通教室